

新鮮大崎

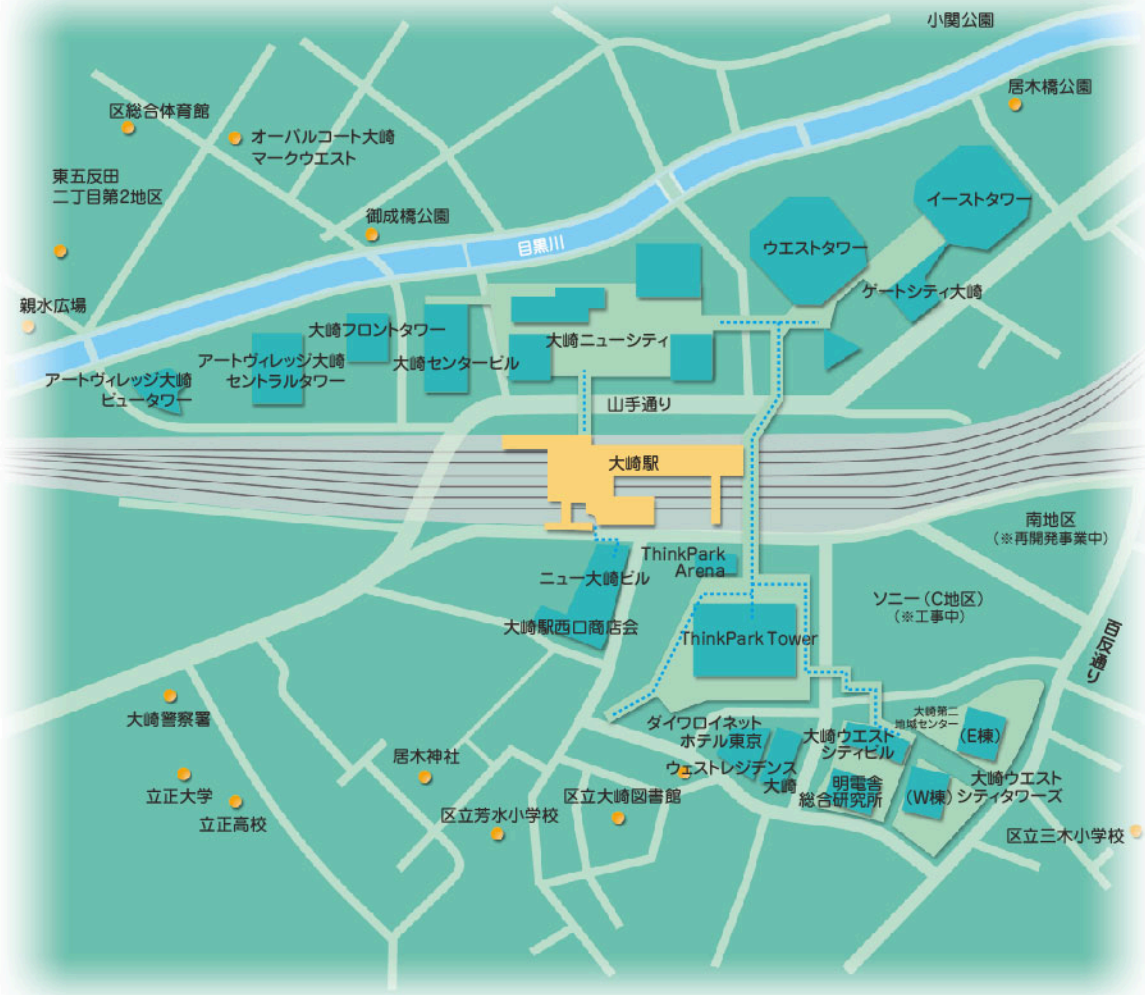
おおさきを見る・知る・感じる
まちづくり情報誌

VOL.1
おおは
よさき



OHSAKI TOWN WELCOME MAP

人々がともに住み、働き、学び、親しみ、楽しむまち。いきいき大崎へ、ようこそ



いいもの、いい暮らしが大崎駅前に勢揃い

大崎駅前にすなり揃ったショッピング&レストランゾーンや公益、サービス施設の数々が
“新鮮副都心”大崎の豊かなコミュニティライフを支えます。

- ThinkPark Plaza
 - 大崎駅西口商店会
 - 大崎駅 Dila大崎
 - ゲートシティプラザ
 - アートヴィレッジ大崎
 - 大崎センタービル
 - 大崎ニューシティ店舗街
- 検索

季刊まちづくり情報誌
新鮮大崎
VOL.1 春【創刊号】



■年4回 (3月・6月・9月・12月) 発行予定
■大崎駅周辺地域内の公共施設・店舗等にて配布しています
編集: (株) プレーンコア
〒107-0052 東京都港区赤坂9-1-7-319 TEL.03-3403-1068
[OAM] Webサイト ▶ [大崎エリアマネージメント](#) 検索



「朝早く」は、何かと良いものです。
 まずはおいしく、お得で、健康的な
 大崎の朝の食シーンからご紹介。



ThinkPark Arenaや植栽広場に面したオープンエア感覚いっぱいのD's Denny'sのテラス席で、ゆったりといただくモーニングメニューはいかが。24時間営業のレストランですから、ちょっと早めに出勤して余裕の本格朝食もいいたいです。ワンプレートや少なめサイズなど、組み合わせ豊富なメニューにもご注目。

グッドモーニング! 新鮮副都心大崎



いま、フレッシュで元気な大崎の新しい朝が
 動きだしています。



Good
Morning
OHSAKI



新しい副都心として生まれ変わり、大きく育っていくフレッシュタウン大崎。
 このまちをもっと見て、知って、感じてほしいと願って、いま、まちづくり情報誌『新鮮大崎』が誕生しました——！
 まずは、フレッシュなまちと情報誌にふさわしい「グッドモーニング」のごあいさつをこめて、大崎の朝の表情をご紹介します。
 このまちのモーニングシーンに新鮮な魅力発見がいっぱいです！



早起き&早ごはんは



AM 7:00~



朝の「ブランドあんぱん」は、いかが？
大崎生まれの特産品です

大崎一番ブランドで知られた「大崎あんぱん」。大崎駅西口商店会にあるPascoニュー大崎のこの人気フードには、ほのぼのとした美味しさがふっくら詰まっています。モーニングコーヒーと一緒に1個いかがですか。

Pascoニュー大崎は地元で人気のおいしいソフ屋さん。大崎あんぱんの他にも焼きたてのパンや作りたてのサンドイッチを、朝7時より用意しています。

“生まれたて”の大崎ウエストシティタワーズの一部、百反通りに面して一緒に誕生したフレッシュショップセブンイレブンから、朝のテイクアウトメニューが自己紹介。新鮮でヘルシーなパスタサラダ(写真)や便利で美味しいライトフードなど、朝食だけでなくオフィスでのランチとしても守備範囲の広い多目的デリカが、OLさん達などに強力アピールです。セブンイレブン大崎ウエストシティタワーズ店 大崎駅方面への出勤途中での立ち寄り買いや、毎日のくらしに必要な便利ショップとして、地元の期待を集めて誕生しています。

三文のツクです。で、大崎の早起きショップを探してみました。



AM 8:00~



グイッと一杯が決め手です。
カラダすっきり、朝シャンのジュース

朝のカラダをシャンとしたい人のためのヘルシージュース。野菜とフルーツを飲みやすいテイストにブレンドしてくれるオーチャードカフェ(ジューススタンド)で、“仕事前の一杯”がおすすめです。

季節の旬な野菜とフルーツを合わせた60種類ものフレッシュジュースを用意!このお店では健康&リラックスが“実感”できそうです。



AM 8:00~



駅でいただく温かな一杯のスープで、
良い一日がスタートします

大崎駅ナカのお店スープストックーキョーで、身もココロも温まっていきましょう。“一杯のスープで今日も良い一日を”と呼びかけるこのお店、通勤途中のみんなを元気にしてくれるホットステーションです。

朝におすすめ、スープ(スモール)に特製パンまたは白胡麻ご飯をセットにしたモーニングセットもあります。



AM 7:30~



おはよう!の元気が湧いてくる、
朝のハンバーガーin「森」の前のカフェ

爽やかな「大崎の森」のたたずまいを目の当たりに、あったかバーガーを召し上がれ。グリーンな開放感いっぱいのもスバーガー大崎カフェで味わう朝の幸福感。きょうも一日がんばろう!って気にしてくれますよ。

ハンバーガーだけでなくケーキや食事メニューも揃った新しいカフェスタイルのお店。オープンなテラス席も魅力満点。

大崎駅前エリアの早朝オープンショップで、二足お先に元気をいただきましょう。
オフィスワーカーの皆さんの朝の出勤を迎える大崎駅前エリアには、早朝からオープンのファーストフードショップやベーカリー、デリカショップ etc. が勢揃い。オフィスの多い副都心大崎だけに、その種類も数も豊富です。ここではとくに、定番&NEWな朝メニューをご紹介します。



食のモーニングスポット体験の後は、春爛漫な大崎の桜巡りを楽しみませんか。夜桜もいけれど、川面に映える清々しい朝の桜もまた格別です。



AM 10:30~



定番、目黒川沿いの桜。地元の人と企業で催す“春の宴”のお楽しみも目黒川の堤を染め上げる鮮やかな桜色の景観は、大崎の春の風物詩としてすっかりお馴染み。毎年、地元の人々や企業が一体となって“春の宴”を開催することでも知られ、“花と祭”は大崎っ子の自慢の種ともなっています。



AM 10:00~



ThinkPark庭の桜は“エコ・チェリー”。生まれ変わる大崎の新名所です敷地の約4割(建物部分除く)を覆うThinkParkの緑。「大崎の森」とも呼ばれ、ヒートアイランド現象の抑制と憩いの場づくりを目的に設けられたこの緑地には、植樹してまもない染井吉野がみずみずしい春の色を添えています。緑地には桜の他に、コブシやスズラン、スミレなど清楚な春の花々が咲き競いますから、ぜひ一見を!



AM 9:30~



郷土大崎に咲くや春。ふるさとの面影を今に伝える芳水小学校、^{まなひや}学舎の桜古くからの地元企業「明電舎」の創業者名がついた「芳水」小学校は、郷土大崎のシンボリック的存在。毎年春ともなれば、居木神社側の校庭の桜が鮮やかに咲き揃い、道ゆく人に昔日より変わらぬ郷土の春の景色を伝えていきます。坂道に舞う花びらの風情にも趣があり、隠れた桜の名所として地元の人々に愛され続けています。



AM 9:00~



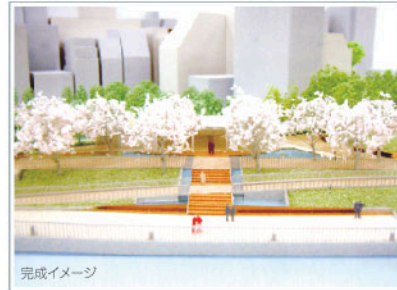
新緑の候にグリーンシャワー。意外なほど多い“大崎の緑”を散歩しましょう水と緑ゆたかなまちづくりを進める大崎では、目黒川沿いの歩行者空間や西口ThinkPark周辺の緑地などを中心に、再開発により生まれた緑道や憩いの広場が随所に広がっています。朝の散歩にぜひ。新緑の季節には大崎の緑の散歩コース(左頁マップ参照)でさわやかなモーニンググリーンに染まってみませんか。

花も味もある大崎の朝。春まち散策もおすすめです。



居木橋から五反田方面へと続く目黒川沿いの堤は、桜の見ごたえ十分。とくに小園公園や大崎ニューシティ、ゲートシティ大崎沿いは桜の密度の点でも定評があります。また、御成橋公園ではゆったりベンチに座ってお花見が楽しめるほか、ちょっと足を伸ばして翡翠原石館へ向かう沿道や江戸の昔からの名所、御殿山の桜並木もおおすすめです。

地元には緑の憩い空間を提供します。これからはますます楽しい目黒川の、水辺の物語が幕開けです。



完成イメージ



完成イメージ

目黒川に新しい桜の名所がエントリ！来年の春が楽しみな親水広場がオープンです。(今年6月完成予定)

今年の6月(予定)、目黒川に新たに誕生する親水広場は、再開発が進む東五反田地区における「新・水とみどりのネットワーク構想」の拠点となるシンボル広場です。水と親しめる広々とした施設内には、豊かな桜並木をはじめ、四季を彩る様々な植栽が施され、



空が広いから、朝日が鮮やか。

「森」があるから、空気は爽やか。

だから大崎は、朝が似合うまち。

よみがえり、生まれ変わっていくこの新しいまちには、

“グッドモーニング!大崎”のエールがぴったり。



AM 8:00~



目黒川畔で朝ウォーキング。疲れたら親水広場(工事中)でひと休み。

緑や桜がきれいな川岸は快適なウォーキングコースとしてもおすすめです。親水広場も新しく誕生する目黒川は、「環境資源」として期待される憩いのエリアへと変身中。朝のお花見を兼ねた健康づくりもいものです。

御成橋のふもとの御成橋公園や、新しくできる親水広場(5頁参照)、さらに「大崎の森」を絡めた、散策気分のウォーキングコースもご注目。(地図緑色部分がおすすめ)



AM 7:00~



健康な体づくりと一日のスタートに、出勤前のモーニングフィットネス

朝7時(火~金曜)からオープンのスポーツクラブNAS大崎では、体にムリのない早朝フィットネスが静かなブーム。眠たい体をシャッキリさせて、いざ出勤、という大崎のOLさん達におすすめかも知れませんね。

当クラブでは、他にも夏のスノーケル、秋の散策、マラソンなど、くらしに潤いを与える様々なイベントも開催予定。(詳しくはWebサイト検索を)



AM 7:00~



朝のジョギングにもってこい、の深い「森」。そよ風の中で“エコ気分”に

ThinkPark Forestと呼ばれる深い木立に包まれた小道(風の道)を、心地よい朝のそよ風に後押しされながらのジョギング。都市の中の希少なエコグリーンと一体化して走る爽快感は、大崎の朝の贈り物です。

東京湾から流れる風の道となって暑い街を冷やす、ここ「大崎の森」には、風を通すために緻密に計算された植樹が豊かに茂ります。他とはちょっと異なる“風のジョグコース”を体験しませんか。



AM 9:00~



いい汗は朝流そう。休日のフットサルコートで朝ファイト!

駅前に広がる多目的広場ThinkPark Arenaでは、朝9時(土日祝のみ/平日は19時)からチーム単位でのフットサルプレーが楽しめます(入会要)。爽やかな朝の空気の中で、充実のオフタイムへキックオフを!

現在、クラブ会員募集中(03-5435-2151まで)。また平日の午後は子供のためのフーマサッカースクールも活動しています。随時、無料体験やっています!(03-3272-5761まで)

からだウェイクアップ!
朝のスポーツシーンも大崎から。



ストレッチも、スポーツも、朝の大崎は格好のグラウンド。

いま人気のフットサルクラブが複数存在するほか、フィットネスやスイミングなどのインドアスポーツ施設、さらに区営の体育館などが大崎駅前エリアに勢揃い。大崎には再開発ビルの誕生と共に増大する通勤人口の健康づくり需要に応えたヘルスサポート施設がこれからも増えていく傾向にあります。また、目黒川べりやまちの中には、豊かな緑が寄り沿うジョギング&ウォーキングコースも見つけられるなど、朝の大崎はスポーツグラウンドとしてもおすすめです。



生まれ変わるまち大崎
新景観探訪
 大崎駅西口地区特集



大崎駅西口地区は、2013年に全地区完成。生まれ変わる西口エリアは、大崎の近未来景観を明かします。

大崎駅周辺地域の一体的なまちづくりの目標をかかげた「都市再生ビジョン」に従い、大崎駅西口地区では、地域全体での个性的な都市景観づくりに向け、歩きたい、住みたい、働きたい、まちづくりを基本理念としたデザインガイドラインを策定。すでにこれに沿った新しい西口地区の建設を着々と進めています。3年後、ここには「新しい大崎の理想的な姿」を示唆した西口景観の全貌が現出する予定です。

駅からフラットにデッキネットワークで連絡、緑の環境軸を備えた快適シティへ。

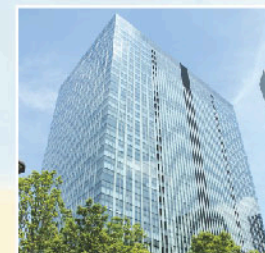
大崎駅と周辺市街地をフラットに連絡するデッキネットワークは、歩行者の駅へのアクセスを軽快にするだけでなく、デッキと建物が連携することにより「賑わい空間」の形成にもつながり

ます。また西口交通広場を中心とした大規模なエントランス広場が形成され、公園や広場が歩行者ネットワークの結節点に配置されるなど、「歩きたい(歩きやすい)」「まちづくりが進められています。さらに、西口地区への来訪者を優しく迎える「まちの緑」など、縦横に配置された緑の環境軸が潤いのフレッシュシティを創出します。

先端技術拠点&研究施設を擁した職・住・憩のクロスオーバーシティ。

新しいまちを構成するゾーニングとしては、人々が交流する「まちの表玄関」エントランスゾーンをはじめ、中核には先端技術産業中心のビジネスゾーン、さらに外周部には研究施設を含めて様々な居住ニーズや生活サポートニーズを満たすアーバンライフゾーンが配置されます。ここには、やがて、これらが調和した理想の先進複合都市が産声を上げることとなります。

2007



E東地区 (ThinkPark)

地域緑化の代名詞「大崎の森」を擁して建つこの駅前ランドマークビルは、大崎駅西口地区再開発のフロントエリア的存在となっています。

2007



E南地区

運動施設を備えた都市型多目的ホテルと、高層マンション。副都心大崎に求められるユーティリティ機能と居住機能を提供しています。

2009



A地区 (西口中地区)

百反通りに沿って建つ超高層ツインタワー(住宅棟)は、これまで大崎駅西口エリアに不足した大規模な都心居住機能をもたらしています。

2011



C地区 (ソニー)

ThinkParkとほぼ同じ高さに並んで建つ研究開発型業務&店舗棟。E東地区の景観と調和した「駅前の顔」と賑わい空間を創出します。

2013



D地区 (西口南地区)

副都心の中核的業務機能と都心居住を同時に促進。新たな「にぎわい軸」となる百反通りに面して建つ大型複合ビルです。

歩きたい、住みたい、働きたい

新しい副都心の

理想を叶える

まちのかたちが

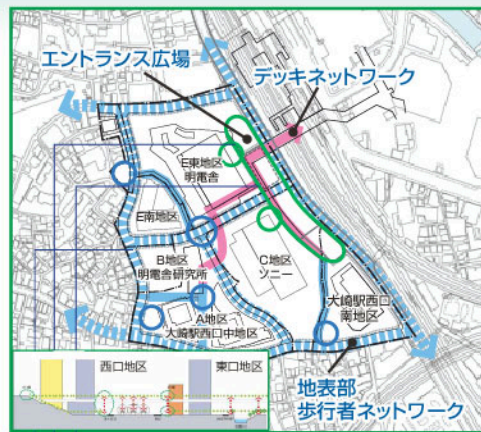
ここに生まれます



都市景観形成へのデザインガイドラインに沿い、大崎駅西口地区はこのように生まれ変わります。

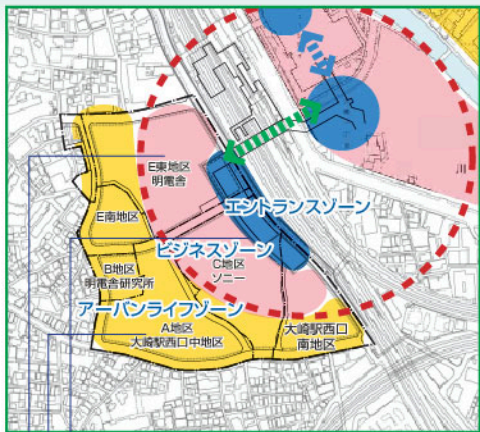
理想的な都市景観形成を目的とする「デザインガイドライン」が示した3つの整備方針。それは、「歩きたい」「住みたい」「働きたい」まちづくりを目指す。西口地区の明日の姿を私達に伝えています。

1 歩行者空間と広場等が整備されます。



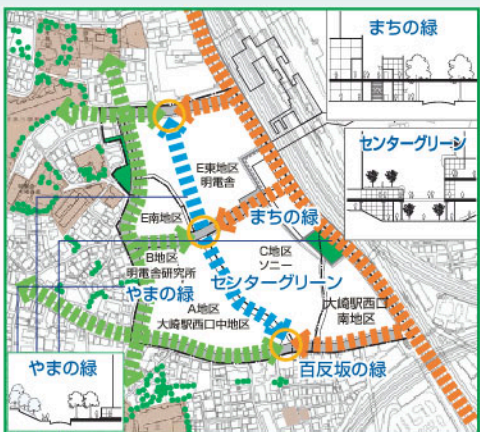
- 駅からフラットにつながる
デッキネットワーク
- 交通広場を中心とした
エントランス広場
- 広場や公園へ続く
地表部歩行者ネットワーク

2 都市空間機能が、適切に配備されます。



- 多様な人々が交流する“まちの表玄関”
エントランスゾーン
- 都市型住宅、生活サポート施設等が
複合する**アーバンライフゾーン**
- 超高層オフィスが集積する
ビジネスゾーン

3 緑の「環境軸」が形成されます。



- 西口地区に訪れたことを
感じさせる「**まちの緑**」
- オフィスワーカーや居住者等に
憩いをもたらす「**センターグリーン**」
- 周辺の人々を優しく迎える
「**やまの緑**」

また、西口地区全体の新しい景観ポイントとして、遠景から大崎副都心を認識させるスカイラインや建物デザイン、賑わいを生み出す駅前顔、さらに周辺と調和したヒューマンスケールな街並など、多くの魅力要素が創出されていきます。

JR大崎駅改札口が、より便利にリニューアル!

南北両改札口周辺が、混雑緩和と利便性アップに向けて生まれ変わりました。



ご案内窓口の充実と、駅構内の乗り換えスペースを広げた南改札口

乗り換えの方をより円滑に目的路線へ連絡させるために、滞留緩和へのスペース拡張を実現。また、ご案内窓口をバリアフリー化し、機能を充実させています。

みどりの窓口を移設・改装した北改札口

北改札口のすぐ横にみどりの窓口を移設することで、ご利用客の動線をより機能的に改良。また、みどりの窓口をより明るく、潤いのある空間へと変身させています。

より快適で使いやすい駅へ、大崎駅はこれからも“便利な駅”への取り組みを続けていきます。

ご存じですか。この3月、大崎駅では、混雑緩和を目的とした南改札口構内コンコースの拡張とご案内窓口の充実に向けた改良工事を行っています。

さらに、北改札口では、みどりの窓口を改札口すぐ横に移設して改装。大崎駅がより快適で使いやすい駅へと変身しています。これからもご利用客の皆さまのためのより快適な大崎駅へ、一歩一歩努力を続けてまいります。



一般社団法人 大崎エリアマネジメントのご紹介

大崎のまちづくり、元気づくりへ ご支援ください。

大崎エリアマネジメントは、大崎駅周辺地域内の効率的な都市空間の維持運営と地域活性化へのまちづくりに向けて設立された法人です。

当誌「新鮮大崎」の発行など、地域の暮らしと産業を元気にするためのまちづくり情報発信や、まちのにぎわいと魅力を生み出す施設維持を中心に、地域の付加価値を高めるまち運営組織として日々「大崎」の発展に力を注いでいます。

おおさきを見る・知る・感じるまちづくり情報誌にご期待ください!

新しく大崎のまちにデビューした季刊「新鮮大崎」。大崎のまちをもっともっと便利で快適で、くらしやすく、働きやすいまちにするための情報提供を行ってまいります。ぜひご覧ください。

Webサイトを開設しました! [大崎エリアマネジメント](#) 検索

大崎のまち情報を多角的に取り上げていきます。皆様が情報参加する双方向媒体としてぜひご利用ください。http://ohsaki-area.or.jp/

イベント・催事情報

まちの催しもの情報をお伝えするほか、取り上げてほしい情報もお伝えできます。

CSRのページ

大崎の各企業や組織が取り組んでいる地域社会貢献活動を紹介しています。

コミュニティボイス

まちづくりへのご意見や情報、地域に起きている問題への提言等をお寄せください。

まちづくり情報

大崎エリアマネジメントをはじめ行政、各地区等が取り組むまちづくり活動をご紹介します。



ものづくりのまちのリーディングカンパニー
明電舎総合研究所

大崎に縁の深い「老舗企業」の頭脳部門
大崎駅西口ThinkParkの南側、竣工間もない大崎ウエストシティタワーと並んで建つ片側全面ガラス張りの个性的な景観。研究所として似つか

しい先進の風貌を備えたこの明電舎総合研究所は、山手線の駅から徒歩約5分という希少な都心立地を活かした「都市型研究所」として広く知られています。明治30年創業後、大正2年に大崎に移転、以来約1世紀にわたり成長の歴史を重ねた株式会社明電舎の「頭脳」と

エコシボル、電気自動車も 深いつながり

環境に優しい電気自動車への部品供給。明電舎が進める地球環境を考えた「ものづくり」へのこの取り組みへ、明電舎総合

当研究所が扱う研究分野には、地球環境保全に関わる水や物質の分析、明電舎製品に使用する新素材の研究、さらには有害として規制される物質の分析など、様々なものがあります。すでにこれまで、発電機やモーター、変電機器など、明電舎の代表的製品の開発研究に豊かな実績を持ち、明電舎ブランド生みの親としても知られるところ。です。



して働く中枢部門。1993年に西口再開発の先駆けとして現在の地に竣工、これまでの大崎との縁の深さは、まさに「根っからの大崎育ち」ともいってべき存在です。
明電舎といえばモーターや発電機、その生みの親として

大正2年(1913年)、モーター製造工場として大崎に居構えた明電舎は、今日まで地元を代表するものづくり企業として大崎とともに発展。創業者(重宗芳水)の名を冠した「芳水小学校」によっても知られています。

明電舎総合研究所
〒141-8565 東京都品川区大崎2-8-1



研究所は部品材料の開発による幅広い貢献を行っています。すでに電気自動車の心臓部ともいえる駆動システムに明電舎製のモーターとインバーターが採用されるなど、明電舎の先進技術が活躍。総合研究所は、基礎研究の分野からこれらの成果をサポート、さらにまた、これに加えて「脱炭素化社会」に向けた新材料の開発にも力を注いでいます。東京のものづくり産業をリードする拠点として「都市再生ビジョン」に位置づけられた大崎。明電舎総合研究所は、ものづくり産業のシンボリック存在としてこれからも大崎の新しい景観の中心に居続けることとしていよう。



次世代電気自動車-MIEV(アイ・ミーブ)にモーターとインバーターを供給した明電舎では、昨年より営業車としてアイ・ミーブを採用。積極的な環境保全策に取り組んでいます。